

# 卒業生からのメッセージ

坂本 眸  
Hitomi SAKAMOTO

株式会社 NTT データ  
NTT DATA CORPORATION  
<http://www.nttdata.co.jp>

谷口 悠介  
Yusuke TANIGUCHI

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)  
Internet Initiative Japan Inc.  
<http://www.iij.ad.jp/>

## 1. 多くの経験を経て (坂本 眸)

本学を卒業してから早一年が経ちました。私は、株式会社 NTT データという国内外のインフラ整備をしているシステムインテグレーション企業に在籍しています。現在2年目になりましたが、周囲の先輩・同期の方々は大変優秀なため、早く追い越せるよう、勉強しながら業務に励む日々を送っています。

弊社は、国内外あらゆる業界をお客様に持ち、大手銀行の大規模システムから1企業の社内システムまで幅広くシステムを開発しています。配属された部署によって、どのようなシステム開発に携われるかは様々ですが、例えば銀行のATMやカード決済など、生活に密着したシステム開発を行っているため、自分が携わっているシステムを目にする機会は多いです。私の所属しているプロジェクトはある金融会社の社内システム開発を行っています。小さなシステムですと数ヶ月でサービス開始しますが、今のプロジェクトは約3年という中規模システム開発です。私は開発初期から参画しており、今まで設計書の作成から製造、試験とシステム開発の一連の流れを経験してきました。就職活動をしていると、コミュニケーション能力の重要性を耳にする機会が多いと思います。プロジェクトでは、性別・国籍・年齢など多種多様な人達と一緒に、サービス開始へ向けて仕事をしていかなければなりません。人の気持ち・考えを同じ方向へ持って行くには、話し合いが重要となるため、必然的に会議が多くなります。多いときは就業時間中打ち合わせばかりで、パソコンに向かう時間がない日もあります。システムエンジニアのみならず、社会人になると学生時代よりも、人と接する機会が多くなるため、コミュニケーション能力の重要性を常に感じています。

学生時代は、私にとって大変有意義な時間でした。アルバイトやサークル活動、ボランティアなど様々な経験が出来た6年間だったと思います。就職活動で自分を見つめ直し、今後を見据えた意志を持つには、学生時代の経験が大切だと私は考えています。大学で、ただ勉強をするだけでは周囲の人との差を出すことは出来ません。何でも良いのでいろんな事に挑戦してみてください。挑戦

する事で今まで接したことの無い人と話す機会も出るため、新しい発見があるかもしれません。私は学生時代、大学生活の中で何かやりたい思いはあっても何をすれば良いかわからない状況でした。そこで、情報システム研究会という学内サークルに入り、教授や友人からの薦めがきっかけとなって、多くの経験が出来ました。その中でもアプリンピックという大会に出場して賞を受賞したのは、印象に残っています。学生生活の4年間は長いようで、あっという間に過ぎ去っていきます。学生の皆さんが限られた時間を有意義に使い、自らの強い意志を持って成長していけることを卒業生として心から応援しています。

## 著者紹介

坂本 眸 (さかもと ひとみ)

平成20年3月九州産業大学情報科学部知能情報学科卒業

平成22年3月九州産業大学大学院情報科学研究科博士前期課程修了

大学、大学院共に宮崎研究室所属

## 2. できる・できない、やりたい・やらなければならないことを考える (谷口 悠介)

### 2・1 自己紹介と自分の学生時代

2005年度卒業の谷口悠介と申します。現在は株式会社インターネットイニシアティブ(以下、IIJ)に勤務しております。業務内容を簡単に書きますと法人向けのインターネットサービスプロバイダ(ISP)です。実は皆さんのすぐ身近にある法人企業・学校などでIIJを契約していただいているお客様が多数います。

さて、自分の学生時代を振り返ると...正直特に目立つこともなく、無難に単位を取って地味に過ごしていたと思います...。ただ、自分の考えとして、履修科目は必ず単位を取得する!と考えながら過ごしていた気がします。(とある選択科目を落としてしまいましたが...)

学部の履修科目の他に、教職の科目を履修していた

め他の学生よりも授業が多く大変な時期もありました。受講科目が増え、試験も増えますがその経験は無駄にはならないと思います。

## 2・2 IIJ との出会い

大学3年次に「インターンシップ」という科目があるかと思っています。私も履修しましたが、もともとは教職を履修する上で、当時はこの科目が必須だったからというのが理由でした。

夏休み期間中に企業にて約2週間実地研修をさせていただいたのですが、そのときに選択した企業が現在の会社IIJです。選択した理由は特になく、なんとなくです。(実際、企業の研修内容やWebサイトを見てもピンと来なかったのが、最後はなんとなく、でした。)

インターンシップを受講している中で、IIJに魅力を感じ、強く印象に残りました。「何に魅力を感じたか?」と聞かれると「変なところ。なぜか妙にみんな元気で楽しんでいるところ。」だと私は思います。

私はインターンシップを受講してIIJを知った。というのがIIJと出会ったきっかけです。会社はたくさんありますし社風も違うと思います。インターンシップで行った企業が合わなかった。だからこの業界に向いてないというわけではないので、あくまでも進路の選択肢のひとつとして考えていただければと思います。

## 2・3 社会人になって思うこと

これまでの話題と時間の流れが飛びますが、主に社会人1年目~2年目について振り返りたいと思います。

1年目の新人研修が終わり、正式配属後の7月~11月ごろ、とある顧客の大規模プロジェクトのメンバーの一人として参加いたしました。

正直、よく辞めなかったな、と思うくらいの激務でした。9時出社の27時帰りなど頻繁にありました。また、帰れない日もあったくらいです。

辞めなかった理由は、それでもみんな何か楽しみつつ、仕事をしている雰囲気があったからだと思います。これは当時のこのプロジェクトリーダーの手腕だと思っています。最終的に「雰囲気を良くするのも、悪くするのもリーダー次第」のようです。

また、構築したからもう終わり、ではなく課題は常にあるものです。言い換えると「これで終わり」というゴールはありません。そんなときに大きく感じるのは「仕事は一人ではできない」ということです。もう自分でも訳が分からないくらい仕事を抱え込みすぎて、たくさん怒られたこともあります...

## 2・4 仕事とは何か?

主に社会人3年目~現在について考えていることを書きたいと思います。

仕事の流れを把握し、これまでの経験で、自分のやりたいこと、やらなければならないことの区別をきっちり線引きできる判断力が必要だと感じています。

何か問題が起きたとします。時間は刻一刻と過ぎていきます。その時に「我々は“誰に”、“何を”提供して報酬を得ているか」を改めて実感しています。これを基本に考えれば、何から優先して対応すべきか見えてきます。この時に求められることとして、スピードと正確な情報です。

状況に変化なしなのであれば、変化がないということを中心に周知しなければなりません。変化がないから何も連絡しない、だとさらなる混乱を招くこともあります。

学生の皆さんにとっても似たような状況はあるのではないのでしょうか。宿題を優先するか、アルバイトを優先するか、サークルを優先するのか...

## 2・5 学生の皆さんへのメッセージ

私からのメッセージとして、あえて「周りに流されず、他の人とは違うことをしてみよう」でしょうか。ただし、他人に迷惑をかけず、やることはきっちりやるということを前提で。

型にはまらず独創的な発想ができるようになることを期待します。

## 著者紹介

谷口 悠介 (たにくち ゆうすけ)

平成18年3月九州産業大学情報科学部社会情報システム学科卒業  
成研究室所属